

宇治市歴史的風致維持向上計画（概要版）



江戸時代の大幣神事『菟道旧記』（江戸中期）

はじめに

計画の名称	宇治市歴史的風致維持向上計画
計画期間	平成24年度から平成33年度まで
大臣認定日	平成24年3月5日
変更の認定	平成25年3月29日
軽微な変更	平成26年3月
変更の認定	平成27年3月27日

計画策定の目的

宇治市は、平安遷都以来歴史・文化を育む京都市の南に隣接し、古都奈良との中間に位置しています。また、本市中心には宇治川が流れ、溪谷から平野へと移ろう山紫水明の地であります。

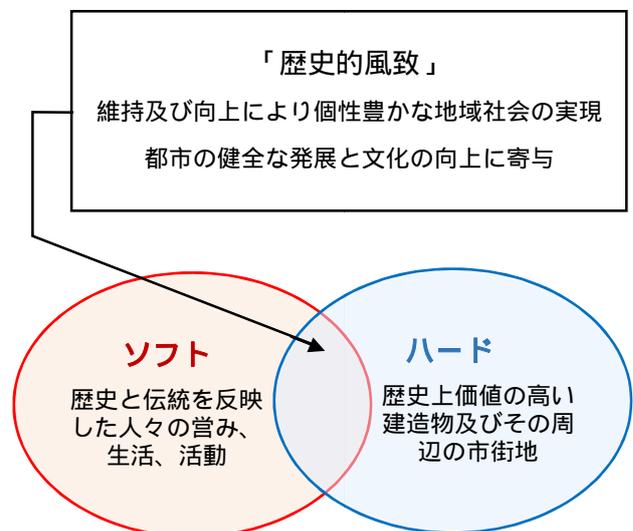
この場所性に優れた本市は、四季折々の表情豊かな自然や多くの歴史・文化遺産に恵まれるとともに、宇治の地に魅せられて訪れる人々の往来、宇治茶の生産と茶に関わる様々な文化的活動、そして伝統的な祭礼行事が今なお継承され、宇治らしい趣のある「歴史的風致」を形成しています。

歴史・文化を活かしたまちづくりを円滑に進めるとともに、本市固有の歴史的風致を守り育て、未来へと引き継ぐために、「歴史まちづくり法」(正式名称：地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律)に基づく「宇治市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。

歴史的風致とは

歴史まちづくり法第1条では、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義しています。

ハードとしての建造物とソフトとしての人々の活動を合わせたものであり、地域固有の風情や情緒を有する環境のことです。



1 宇治市の歴史的風致形成の背景

本市の歴史的風致は、豊かで美しい自然風土、時代に応じて変化する都市の歴史的な重層性に現在の社会環境が大きく関わって形成されている。また、貴重な文化財が保護されてきたこと、多様な文化活動が盛んなことは、本市の歴史的風致形成の背景となっている。

1 . 自然風土

本市の地形は東部の醍醐山地、中部の山麓丘陵、西部の沖積低地の3つに区分でき、谷から平野へと移行する地形変化に富んでいる。

本市のほぼ中央を南北に宇治川が流れている。宇治川沿いの風景は、四季の移り変わりが明瞭で、表情豊かな自然美の景観「山紫水明」の場所として知られている。

2 . 歴史の変遷

宇治の起源

本市の地名の起源として、菟道稚郎子うじのわかいらつこが宮を構えたという説話が伝えられている。また、大化2年(646)に宇治橋が架橋されると、宇治川を通過する交通の要衝としての位置付けが強まる。

平安時代：別業都市として発展

平安時代には貴族の別業地として栄え、藤原道長が宇治川西岸に別荘を構え、その息子である頼通が平等院を造営するなど都市として大きく発展する。

中世：芸能集団の活躍と茶栽培の始まり

平安時代末期の源平の争乱後、楠木正成による宇治放火や織田信長による槇島の合戦など宇治はたびたび戦渦に巻き込まれるが、祭礼神事に伴う田楽や猿楽の芸能集団が活躍する。

鎌倉時代に茶の栽培が始まり、室町時代には茶の産地として知れ渡るようになる。

中世～近世：太閤堤築堤と宇治の町の変化

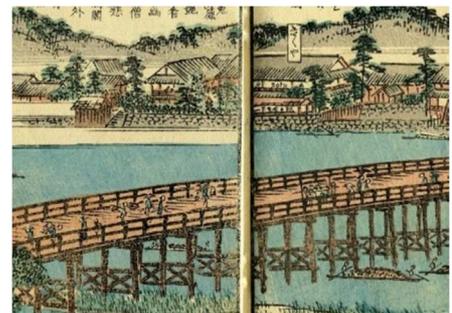
豊臣秀吉は、晩年に伏見城の築城に伴い大規模な土木工事を行った。いわゆる太閤堤の築堤である。これにより宇治は古代以来の交通の要衝としての重要性を失ったが、一方で秀吉の庇護により茶産地としての宇治の名声が高まるようになる。

近世～近代：煎茶の普及と宇治川遊覧

江戸時代には、徳川將軍家によっても宇治茶が珍重され、黄檗宗萬福寺の隠元禅師によって煎茶文化が広く普及する。

また、庶民の社寺参詣が流行すると、全国から宇治に人が訪れるようになり、宇治川の舟遊びは名物の一つとなる。

近代以降も宇治川の自然美と歴史文化遺産を巡る宇治川遊覧は好評を博し、一年を通して観光客で賑わう町となっていった。

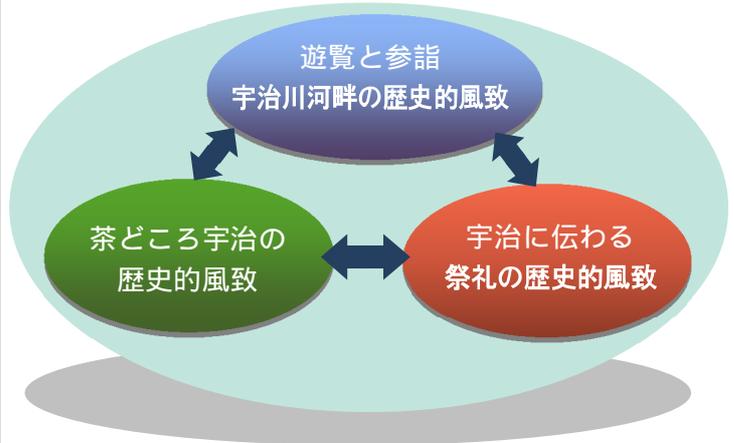


菊屋『宇治川兩岸一覽』(江戸後期)

2 宇治市の維持向上すべき歴史的風致

宇治には、山紫水明の宇治川周辺に魅せられて訪れる人々の往来と、平安貴族の信仰と感性が生み出した優れた文化遺産、宇治茶の生産と茶に関わる様々な文化的活動、そして伝統的な祭礼行事が一体となって受け継がれ、美しく趣のある風景が伝えられている。

宇治市の維持向上すべき歴史的風致とは、宇治の自然風土と深みのある歴史過程の中で形成された建造物や都市形状を核として、宇治川河畔の参詣や遊覧、茶業や祭礼行事といった歴史的伝統を継承する諸活動が行われる良好な市街地の環境である。



3 宇治に伝わる祭礼の歴史的風致 3-1 大幣神事の歴史的風致



大幣神事の行列

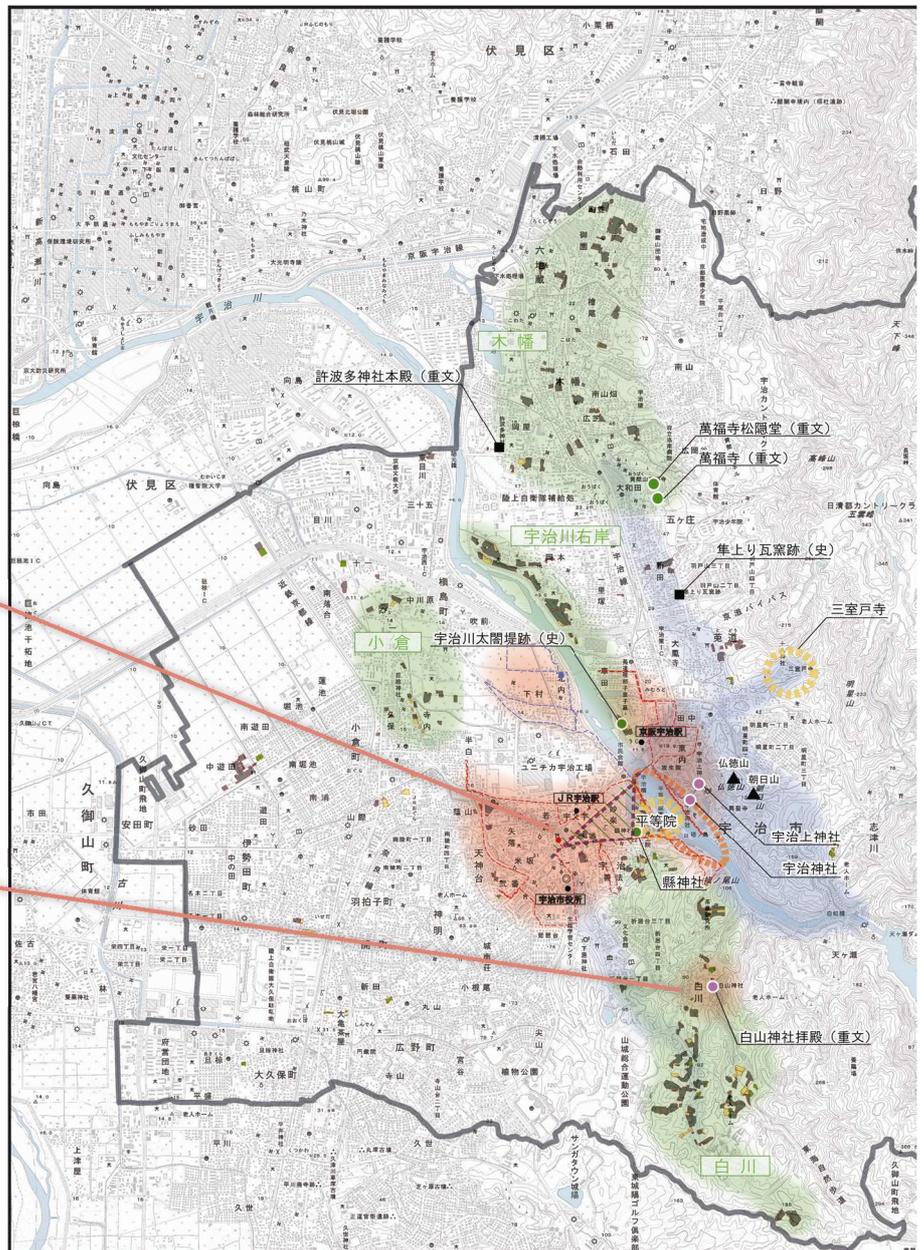
大幣神事は縣神社の祭礼で、平安時代に由来を持つ三角形街区で「大幣」と呼ばれる大きな御幣で疫神を集めて、宇治川に流して祓うものである。歴史の厚みが、ハレの一時、まちなかに放散されるような風情と賑いを伝えている。

3 宇治に伝わる祭礼の歴史的風致 3-3 白川白山神社の歴史的風致



百味の御食

白川には、平安時代に創建された金色院の神事が、寺院廃絶後も地域の人々によって白山神社の祭礼として守り伝えられており、谷里景観と相まって、趣のある歴史的な風情を今も見る事ができる。



3 宇治に伝わる祭礼の歴史的風致 3-2 離宮祭の歴史的風致



宇治神社の神幸祭

平安時代、藤原氏の支援を受けて発展した離宮祭は、歴史の激動に翻弄されてきたが、祭礼を担ってきた地域の人々のまもりは継承され、地域の氏神の祭りに姿を変えながら、今も守られている。

2 茶どころ宇治の歴史的風致 2-1 覆下茶園の歴史的風致

4月頃、茶園には覆いが施され、独特の茶園景観ができる。茶葉が育つとお茶摘みさんが集まり茶摘みに精を出す。今なお続く、宇治の慌しくも活気づく風景である。



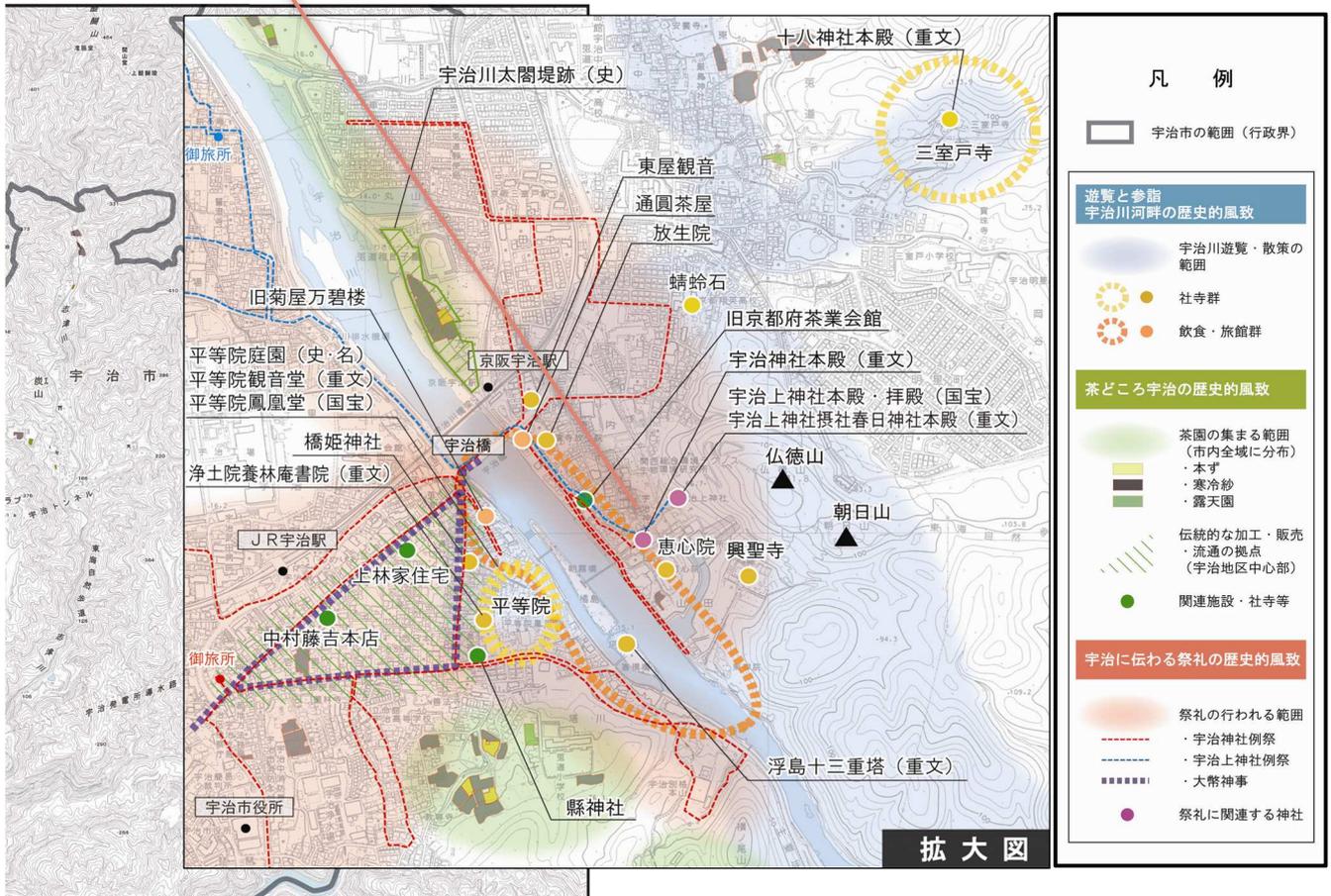
本質覆下茶園での茶摘み

2 茶どころ宇治の歴史的風致 2-2 お茶屋さん達の歴史的風致

室町時代後期以降、天下一の茶を生み出した宇治茶師の技と伝統を継承しつつ、今も多くの人を迎えて商いを続ける茶どころ宇治ならではの風情がある。



平等院表参道に並ぶお茶屋さん



1. 遊覧と参詣 宇治川河畔の歴史的風致

宇治川とその河畔には、平安時代から変わらない自然美を愛で、江戸時代以降に流行った平等院を始めとする社寺参詣や『源氏物語』などにゆかりのある古跡を巡りながら遊覧し、船で遊ぶ人々の風景を今も見る事ができる。



宇治上神社と参詣者



宇治川遊覧

3 歴史的風致の維持向上に関する方針

歴史的風致の維持向上に関する課題

- (1) 歴史的風致の認知に関する課題
- (2) 宇治茶や地域の伝統文化の継承に関する課題
- (3) 歴史・文化遺産に関する課題
- (4) 景観に関する課題
- (5) 観光振興に関する課題



覆下茶園と茶摘み『宇治名所図』

歴史的風致の維持向上に関する基本方針

- (1) **宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する**
 - ・歴史と文化を伝える図書の発刊や参加体験型の啓発活動の充実を図る。
 - ・歴史の重層性や伝統文化について総合的に分かりやすく情報の発信を行う。
- (2) **伝統文化・伝統行事の継承と振興を図る**
 - ・宇治独特の本質によるお茶の栽培技術の価値を調査・検証し継承を図る。
 - ・宇治茶ブランドの向上に努め、茶業の振興を図る。
 - ・地域コミュニティの維持に重要な伝統行事について住民の意識向上を図り、担い手の育成に努める。
- (3) **多様な歴史的遺産の保存・活用を推進する**
 - ・未指定の歴史的・文化的価値を有するものについて積極的に調査し文化財指定を行い、既存の指定文化財とともに保存と活用に努める。
 - ・身近な歴史・文化遺産の掘り起こしと活用を推進するため、文化財を支える社会的環境づくりに取り組む。
- (4) **宇治らしい景観の保全・修景を図る**
 - ・近年の景観政策を継続し、市民意識の向上や景観保全・景観誘導を促進する。
 - ・宇治の歴史的特色を活かした修景整備や茶業関連の家屋等の整備活用を行うなど宇治らしい景観づくりを推進する。
- (5) **歴史のまちにふさわしい観光振興を図る**
 - ・歴史・文化遺産を活かした参加体験型の観光振興策を検討する。
 - ・観光客の多様なニーズに対応し円滑なおもてなしが図れるように、関係団体・市民等と連携しながら、多様な施策を検討し取り組む。
 - ・まち全体の観光を促進するため周遊ルートの検討や観光サインの再整備を行う。

4 重点区域の位置及び区域

重点区域の考え方

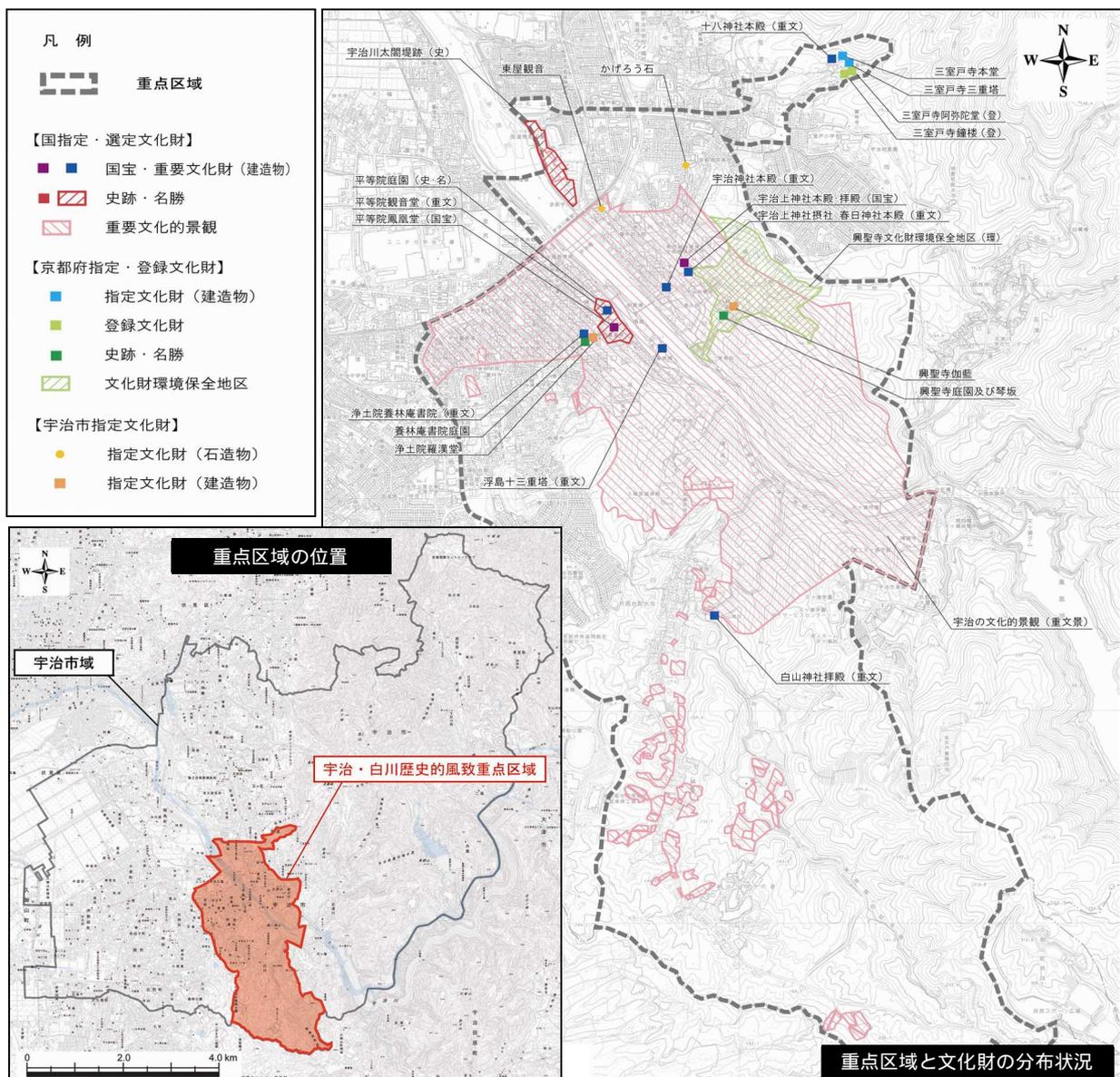
重点区域は、国指定文化財を始め文化財が集積し、かつ本市の歴史的風致が重なる地域で、各種施策を重点的かつ一体的に推進する必要性の高い区域を対象とする。

重点区域の位置・区域

重点区域の名称：宇治・白川歴史的風致重点区域

重点区域の面積：710 ha

本計画に定める重点区域は、宇治橋周辺と白川地区を含んだ範囲を基本とする。宇治橋周辺地区は、近世から賑わう観光地であり、また茶業や祭礼行事といった伝統的な諸活動が行われている。またこの宇治橋周辺と歴史的関わりが深く、宇治茶の生産を支えるのが白川地区である。



5 文化財の保存又は活用に関する事項

本市では市全域を対象に多様な文化財の継承に努力するとともに、人々にその価値を伝え社会に活かすことで、市民文化の向上や魅力的なまちづくりに寄与するよう努める。

特に重点区域に関しては、以下の事項を推進する。

(1) 文化財の保存・活用に関する取り組み

宇治地区：宇治橋通りの家屋調査に基づく文化財指定・登録

史跡宇治川太閤堤跡の遺構の保存・整備

白川地区：白川金色院跡の文化財指定による保護、文化的景観保存調査、祭礼行事調査

(2) 文化財の修理や整備

国宝・重要文化財建造物：宇治上神社本殿・拝殿の屋根葺替修理

史跡宇治川太閤堤跡：整備基本計画に基づいた公園整備による公開

重要文化的景観：文化的景観整備計画の策定（宇治橋通り地区）

重要構成要素の家屋の修理・修景事業

(3) 文化財の保存・活用を行うための施設整備

史跡宇治川太閤堤跡の隣接地における宇治の歴史・文化の情報発信施設の整備

重要文化的景観に配慮した統一感のある理解しやすい説明板や解説等の充実

(4) 文化財の周辺環境の保全に関する取り組み

建物修景助成制度や屋外広告物助成制度を活用した良好な景観形成の推進

来訪者の安全性の確保や渋滞緩和に向けた観光交通施策の検討・実施

史跡宇治川太閤堤跡周辺道路の歩道整備と修景舗装による安全性の確保・回遊性の向上

(5) 文化財の防災に関する取り組み

「宇治市文化財まもり隊」による地域の自主防災活動の促進

個々の文化財と周辺の市街地を含む一体的な文化財防災計画の検討・策定

(6) 文化財の保存及び活用に関する普及・啓発活動

市民向け文化財講座・現地見学会・イベントの開催、関係団体や学校との連携

お茶に親しむ文化の普及を目指し、市営茶室対鳳庵の活用や参加体験型の啓発活動を推進

(7) 埋蔵文化財の取扱い

重点区域内には、平安時代から現在までの都市変遷を示す重要な遺跡が多くあり、記録保存・重要遺構の現地保存に努めるとともに、整備や活用に反映

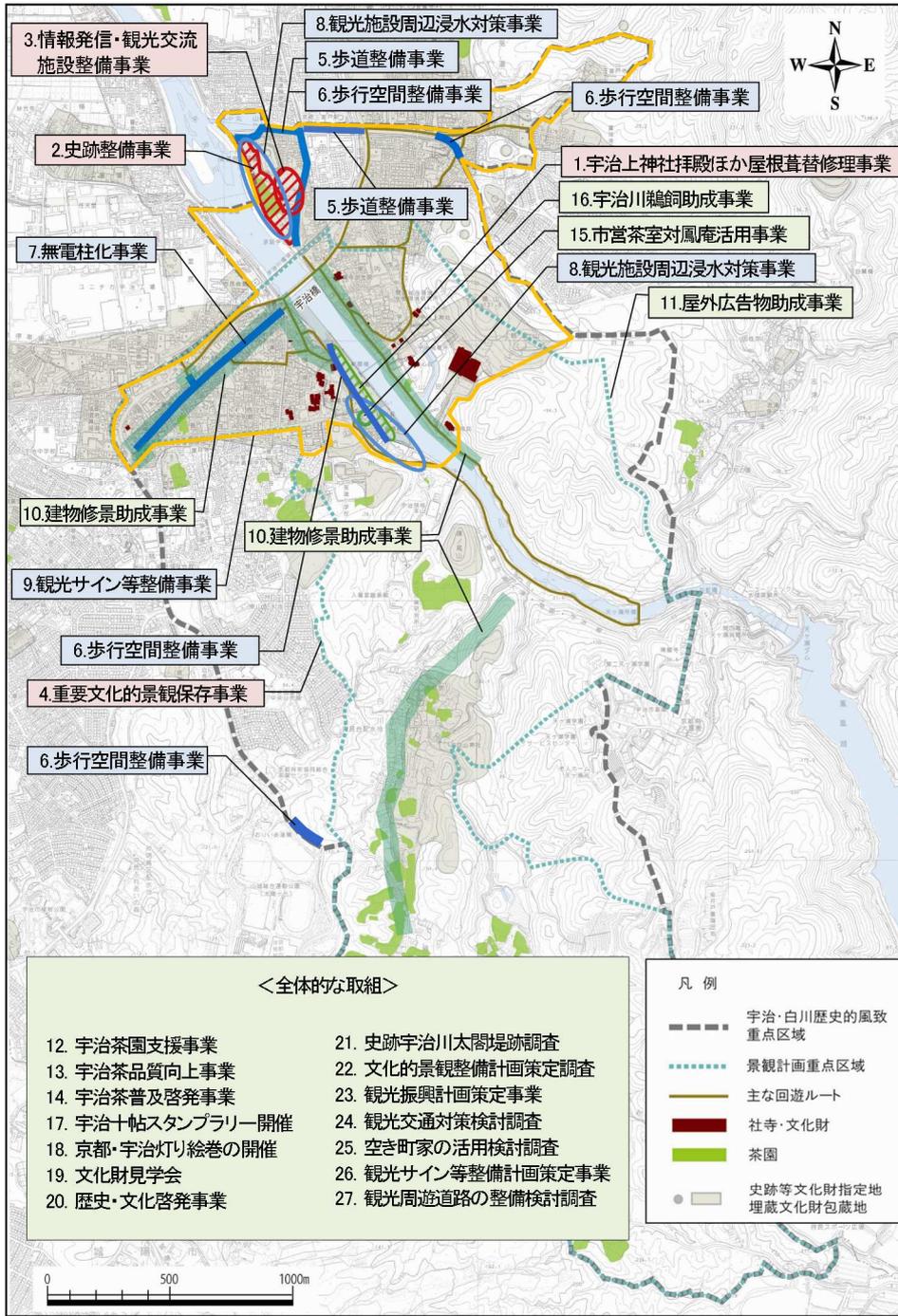
(8) 文化財の保存・活用に関わる住民、NPO等各種団体との体制整備

文化財に関わる市民団体やまちづくり協議会との協働による文化財の保存・活用

新たなNPOや市民団体の設立に向けて、文化財の情報提供を行うとともに人材育成を

図り、行政と市民との協働による文化財の保存・活用の拡大を促す体制の整備

6 歴史的風致の維持向上に必要な事項～事業概要～



1 宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業

国宝宇治上神社拝殿、本殿ともに檜皮葺屋根に損傷が見られることから保存修理を行う。

宇治上神社本殿（国宝）

2 史跡整備事業

3 情報発信・観光交流施設整備事業

史跡宇治川太閤堤跡を活用した公園を整備する。隣接地には、歴史や文化、宇治茶の情報を発信する施設を整備するとともに市民等の憩いの場を創出する。

10・11 建物修景、屋外広告物助成事業

良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建物の修景や、景観計画に基づきまちなみと調和する屋外広告物の整備等に助成を行う。

修景された家屋（宇治橋通り）

12～14 宇治茶に関する事業

12 宇治茶園支援事業

宇治茶振興と茶園面積の拡大、生産力の向上のための改植や新植事業に対する助成を行う。

宇治川沿いの茶園

13 宇治茶品質向上事業

高品質茶や優良茶園を審査する品評会の開催や手もみ製法の保存継承活動を支援する。

茶品評会

14 宇治茶普及啓発事業

「市民茶摘みのつどい」の開催や普及啓発に取り組む宇治市茶業青年会への活動助成を行う。

16 宇治川鶺鴒助成事業

鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活して以降、宇治川の夏の風物詩である宇治川鶺鴒の運営に対して助成を行う。

鶺鴒

19・20 文化財等啓発事業

19 文化財見学会

小・中学生を対象に文化財の見学会を開催し、見学会の感想や文化財に対する作文コンクールを行う。

文化財見学会

20 歴史・文化啓発事業

文化的景観に関連するフォーラムや調査報告会、パネル展等を開催するとともに、参加体験型のイベント等を開催する。

7 歴史的風致形成建造物に関する事項

歴史的風致形成建造物の指定の方針

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上を図る上で、必要かつ重要と認められる建造物を、「歴史的風致形成建造物」として指定する。

【歴史的風致形成建造物の指定の条件】

- 文化財保護法に基づく登録有形文化財（建造物）
- 文化財保護法に基づく重要文化的景観の重要な構成要素（届出建物、施設）
- 京都府文化財保護条例に基づく指定文化財又は登録文化財（建造物）
- 宇治市文化財指定条例に基づく指定文化財（建造物）
- 宇治市景観計画に基づく景観重要建造物
- その他保全の措置が必要と市長が認めるもの



歴史的風致形成建造物の指定が想定される事例のイメージ

歴史的風致形成建造物の維持・管理の基本的な考え方

歴史的風致形成建造物の維持・管理は、周囲の景観への影響や個々の価値を考慮して適切に行うものとする。

歴史的風致の維持向上を図るための積極的な公開、活用を図る。特に公開に関しては、通常外部から望見される範囲だけでなく、所有者の協力を得て、可能な範囲で内部公開に努めるものとする。

歴史的建造物等の特徴を顕著に示す意匠や形態、装置の保存又は復元に努める。

参考資料 歴史的風致にかかわる宇治の年中行事

- 1月5日 初懸祭（縣神社）
- 2月3日 節分祭（宇治神社ほか）
- 3月18日 祈年祭（白山神社）
- 4月第1土・日曜日 宇治川さくらまつり
- 4月初旬～5月下旬 宇治川舟茶席



無形文化財宇治茶手もみ製法

- 5月1日 神幸祭（宇治上神社）
- 5月上旬 宇治新茶八十八夜茶摘みの集い
- 5月5日 還幸祭（宇治上神社）
- 5月上旬 神幸祭（宇治神社）
- 5月中旬 全国煎茶道大会（萬福寺）
- 6月1日 献茶祭（宇治上神社）
- 6月5日 あがた祭（縣神社）
- 6月8日 大幣神事（縣神社）
- 6月上旬 還幸祭（宇治神社）

- 春～秋 宇治川舟遊覧
- 6月下旬～9月下旬 宇治川鶺鴒
- 7月18日 虫干祭（白山神社）
- 8月初旬 宇治川花火大会
- 8月下旬 地藏盆
- 9月下旬～11月下旬 宇治川舟茶席



白川区の茶園景観

- 10月1日 献茶祭（宇治神社）
- 10月第1日曜日 宇治茶まつり
- 10月第1日曜日 茶祭（興聖寺）
- 10月18日 百味の御食（白山神社）
- 10月下旬 宇治田楽まつり（宇治公園）
- 10月下旬 京都・宇治灯り絵巻
- 11月5日 献茶祭（縣神社）
- 12月18日 御火焚祭（白山神社）
- 12月31日 除夜の鐘（平等院ほか）



宇治市宣伝大使
ちはや姫



『宇治名所図』（江戸後期）

江戸時代における宇治の代表的な名所が描かれた屏風絵には多くの人で賑わう様子が描かれている。

中ほどに宇治橋、右下が平等院である。また、舟遊び、柴舟、覆下茶園、木綿さらし、水車などが合わせて描かれている。

宇治市歴史的風致維持向上計画（概要版）第3版

宇治市都市整備部歴史まちづくり推進課

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL：0774-21-1602

FAX：0774-21-0400

E-mail：rekimachi@city.uji.kyoto.jp

「宇治市歴史的風致維持向上計画」の本編は、
宇治市ホームページに掲載しています。

ホームページ： <http://www.city.uji.kyoto.jp/>